

てくてくあおぼ ピッピ・なないろ



★9 月 29 日 防災講演を開催しました!!

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザで子育て世帯・保育関係者むけの防災講演を開催いたしました。

◆今回のテーマ◆

子連れ防災と福祉避難拠点

～共助の中での福祉施設の役割を考える～

◆今回の目的◆

昨年度の防災ワークショップ(WS)では、防災の視点で危険な場所や安全な場所を探すまちあるきを行い、自治会長さんから防災備蓄庫についての説明を受けることも出来ました。このWSを通して感じたことは、子育て家庭にとって災害時には特に地域とのつながりが必要であるということでした。

そこで今回は、さらに災害時の地域連携の必要性を伝えられるような講演会を青葉福祉ユニットと共催で実施しました。「防災力を向上する実践的なノウハウ」の提供や「子育て家庭や保育所などが日頃から地域とつながっていることの重要性」に関して考えてもらうきっかけづくりをすることが目的です。また、災害時に「災害弱者のニーズに応えられる可能性のある福祉施設の在り方」についても考えてもらえるような講演会にしました。

◆NPO 法人 MAMA-PLUG 吉村さん、NPO 法人孫育て・ニッポン棒田さんの講演◆

今回の講演会では外部から講師をお招きすることが出来ました。

講師紹介

吉村幸恵(よしむら・ゆきえ)

NPO 法人ママプラグ副理事長。ライター。
被災母子支援を行いながら、被災体験を
取材し、同 NPO にて被災ママ 812 人が
作った「子連れ防災手帖」を出版。

棒田明子(ぼうだ・あきこ)

NPO 法人孫育て・ニッポン理事長。
岩手県沿岸部を中心に、子育てサークルの
設立など、支援を行う。
「子育て×地域のつながり×防災」を
テーマに活動。

MAMA-PLUG の吉村さんには「楽しく学び、賢く
備える」をテーマにした「アクティブ防災」について
ご講演いただきました。手法のひとつである「防災
ピクニック」では“楽しみながら”避難時を想定し
た訓練を行います。整備されたコンクリートの道では
なく、ボコボコの砂利道では子どもはうまく歩くこ
とが出来ません。また、和式のトイレに慣れていない

子どもも多く、非常用トイレを上手に使いこなすことが出来ない子も多いようです。普段から身につけていな
いと、いざというときに動けません。なにより“楽しく”身につけることが重要であるということをお話して下さいました。

孫育て・ニッポンの棒田さんは3.11の際に訪れた被災地での経験をお話下さいました。避難所で過ごすこととな
った子育て中のママたちは、子どもが泣けば廊下へ出てそれでも泣き止まなければ昇降口へ、終いには外へ出なく
てはなりません。雨が降っても寒くても外や暖房のきいていない寒い車の中で子どもが泣き止むのを待つ、避難所
での子育て世帯の肩身の狭さが身にしみます。そのため、保育所や幼稚園が避難所になることでママたちは気持ち
が落ち着き、安心できるのであるという福祉避難所のあり方、そして避難所では互いに助け合って生活しなくては
ならないということをお話下さいました。また、防災拠点の運営についてのお話もあり、防災拠点運営委員の方に
とっても大変貴重なお話を聞く機会になったと思います。

◆今後はこんなことしたい◆

今回の講演会は参加者同士のつながりも作る機会となったので、大変嬉しく思います。

今回の講演を受け、防災術は“楽しく”身につけるべきものであり、災害時においては人との“つながり”が欠かすこ
の出来ないものであると感じました。そのため、今後は“楽しみながら”“地域との”つながりを構築できるようなWSを企
画していきたいと思っています。



★防災講演の様子



吉村さん、棒田さんが防災について貴重なお話をしてくださいました!!

マップWSプロジェクトの説明中!



講演を受けてグループごとに意見交換 ポストイットに意見をまとめていきます! 出た意見を発表して皆で共有しました!

参加した人; 一般の方 15 名(うち 3 組親子連れ)、青葉福祉ユニット 18 名、パレットスタッフ 6 名、
ピピスタッフ 5 名、市大職員 1 名
託児協力: 保育グループママエールスタッフ 2 名
運営スタッフ; 横浜市立大学三輪ゼミ 6 名、教員 5 名



～参加者の声～



少しずつ忘れていく震災なので、今日の講演は刺激になりました。子どもを保育しているときにも「今地震が起きたら」と常に考えていなければならないと思います。
(ヘルパーステーションみんなのいえスタッフ)

保育所に勤めるスタッフとして、地域に住む住人として何ができるか改めて考える機会になりました。今後もきちんと考えていければと思います。(ピピスタッフ)

自分が子育て世代とかに、何か手助けをしたいと思っても、どうしていいのかわからないので、仕事とは別に手助けをしたい人に発信するものがあるといいと思いました。(パレットスタッフ)

編集後記

今回の講演会は託児を設けたため、親子連れの方もご参加くださり、防災についてさまざまな立場から考えることが出来ました。普段から「もしもの時」について現実的に考え、行動するのは難しいことですが、講演を受け、参加者の皆さんもそれぞれ新たに考え、得られたものがあったようです。今後はこの機会を存分に活かし、防災という視点も取り入れながら地域のつながりについて考え、楽しく役立つ活動を行っていききたいと思います。

三輪ゼミ 2 年 高柳ひかる

次回予告

次回は引き続き『防災』をテーマに、防災マップに関する WS を今冬頃実施する予定です。詳細が決まり次第、開催予告のチラシを発行いたします!

参加者・テーマ募集中!! 気になった方はこちらまで。 E-Mail; WS.Hoikuen@gmail.com

★マップワークショッププロジェクトとは?

多くの保育施設ではお散歩活動を通して、街中へと出かけています。特に、近年増えてきている園庭を持たない保育施設では、ほぼ毎日街を歩いています。規制緩和によってそのような保育施設が増えている一方、地域の人と情報を共有するきっかけがうまく見つけられていない施設や防災の面でも大切な地域との繋がりを築けているか不安といった施設もあります。保育施設は地域の皆さんとの繋がりを求めています。その繋がりがきっかけを作っていこうと発足したのが本プロジェクトです。